

アートとまちづくり研究会

【日時】 9月4日（土） 19時～21時15分

【形態】 zoom

【講師】 米屋尚子氏（文化政策・芸術運営アドバイザー／芸術コーディネーター）

【対象】 大阪市立大学大学院 アートとまちづくり研究会メンバー 3名、M1 2名

【タイトル】 「文化芸術活動とコロナ禍～わが国の実演芸術と文化政策の課題～」

2020年2月下旬以降、コロナ禍により文化芸術活動はさまざまに影響を受けた。なかでも、鑑賞者と空間を共に共有する実演舞台芸術においては、表現の活動の機会を失った。コロナ禍における文化庁の支援策はどうだったのか。一方でコロナ禍だからこそ創出された事業、及び、今回のコロナ禍においてみえてきた課題があった。

この度、英国で芸術政策運営学を学び、米コロンビア大学大学院で、芸術文化研究所客員研究員として研鑽を積み、現在、文化政策・芸術運営アドバイザー、芸術コーディネーターとして活躍している米屋尚子氏をゲストにお迎えしオンライン講演会を開催した。

コロナ禍と実演芸術の支援のありかた、政府によるコロナ禍対応文化芸術支援とその具体例、事業助成の難点、コロナ禍によって創出された事業、文化政策が目指すところなど、文化芸術活動のこれからを深く考えるご講演だった。参加者とのディスカッションでは、文化芸術のアウトカムの指標の作り方や、評価についてさまざまに意見交換を行なった。